

☆☆☆☆「どうしたらよくなるか考え行動する」☆☆☆☆

上小だより

第11号

上野原市立上野原小学校
発行日 令和3年9月7日
発行者 校長 大場 卓
TEL 0554-62-3104



子どもたちの学びを止めないために・・・

8/25(水)に2学期の始業式があり、学校に元気な子どもたちの姿が戻ってきました。しかし、その後の感染症拡大の状況を受けて、上野原市では子どもたちの安心・安全を第一に考え、8/30(月)からは臨時休業措置をとることになりました。それでも、子どもたちの学びを止めないために、先生方は知恵を絞って、市教委にも協力していただく中で、オンラインでの学習を進めることになりました。今までに無い経験の中で、毎日試行錯誤を繰り返しながら、仲間と支え合い、授業づくりを進める先生方の姿勢には、校長として感謝がありませんでした。そして、そうした努力の中に様々な課題や新しい発見があり、学ぶということの本質がある気がしました。

9/6(月)からは、これまで以上に感染症対策を徹底する中で、分散登校も開始しました。臨時休業、分散登校、通常登校…、様々な対応についてたくさんのお考えがあると思います。我々教職員も常に教育委員会や市内小中学校、保健所や医療関係者等とも情報交換を行い、全国各地の状況や国や県の施策も把握する中で、どうすべきかを考え行動しています。残念ながら現在は、コロナ禍以前のようにマスクもなく、友達と寄り添い、語り合ったり、歌ったりすることは難しいと考えています。しかし、学校は子どもたちにとって自立する力をつけていくために欠くことのできない場所だと思います。国語や算数などの学びだけでなく、仲間とぶつかって嫌な思いをしたり、解決するために知恵を絞ったり、支え合ったりしながら乗り越えていく喜びを味わうためのとても大切な場所です。そんな学校の役割をしっかりと果たしていくために、先生方は日々がんばってくれています。学校が安心・安全な場所であるために、児童はもちろん、ご家族に体調の悪い方がいる場合も、大事をとって登校を控えていただくよう繰り返しお願いしています。登校してくる児童は、基本的に体調のよい児童だけですが、念には念を入れて、校舎に入る前の待機場所にマーキングして密を避けるよう指導したり、体温チェックカードの持参、手洗いの励行についても声かけをして万全を期しています。校舎内でも、学年の実態に応じて可能な限り座席の間隔をとり、換気を励行し、出入りの際の手指消毒を呼びかけ、熱中症対策も考慮したマスクの着用を指導し、学習内容も国や県の示した指針を参考に可能な限りのリスク回避を行っています。給食についても、専門機関に現場を見てもらい、1,2年生を教室に移動し、ランチルームの密を回避し、座席を空け、対面にならないようにレイアウトを変更し、飛沫防止のために会話はせず、食べる時以外は必ずマスクを着用し、給食時間も無理のない範囲でできるだけ短時間に済ませるようになるなどできる限りの対策を講じています。こうした厳しい状況の中でも、子どもたちがたのしく学校で生活できるようみんなで知恵を絞って取組を進めています。

分散登校にあたっては、各学年の人数や教室のレイアウトなどを検討し、リモート授業も併用する中で、学級の人数を分散させてリスク回避を図っています。全校が登校してきても、これまで以上にリスク回避を図りながら学校生活を送れるように全職員が知恵を絞りながら準備を進めています。学校の施設設備には限界のある中で、市教委にもご協力をいただきながら、できるだけの手立てを講じていきたいと考えています。

すべては、子どもたちにとって大切な学校生活を送れるようになるためです。学校はこれからも関係機関と情報交換を行い、全国各地の情報も収集しながら、どうしたら安心・安全な学校生活を継続して送れるのかを考えながら行動していきたいと思っております。様々なお考えがあると思いますが、これまでどおり感染症に関わって嫌な思いをする人が出ないように、みんなで知恵を出し合い進んでいけるようご理解とご協力を心よりお願いいたします。